

# 令和4年度 事業報告書 令和4年度 決算書

自 令和 4年4月 1日  
至 令和 5年3月31日

社会福祉法人小郡市社会福祉協議会

# 令和4年度事業報告

自 令和4年4月1日

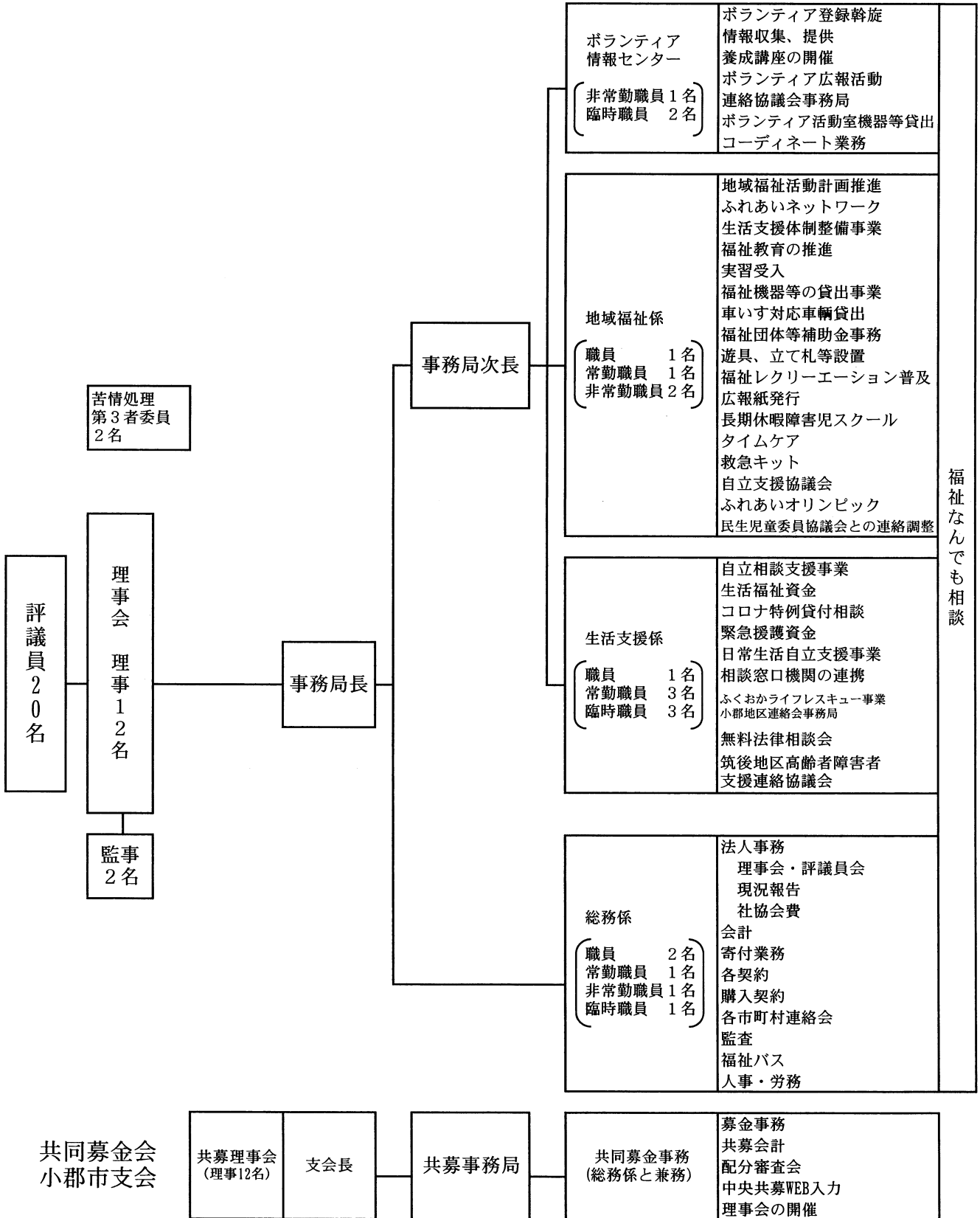
至 令和5年3月31日

—目次—

小郡市社会福祉協議会組織体制	..... P 1
コロナ禍の3年間を振り返り	..... P 2
令和4年度総括	..... P 3
事業概要	
1. 社会福祉協議会運営基盤の強化	..... P 4
2. 相談事業	..... P 7
3. 資金貸付事業	..... P 14
4. 福祉バス（さちかぜ号）運行事業	..... P 19
5. 共同募金会（小郡市支会）	..... P 19
6. 在宅福祉活動	..... P 20
7. ボランティア情報センター事業	..... P 22
8. 福祉・ボランティア団体活動支援	..... P 26
9. 福祉教育事業	..... P 27
10. 地域福祉活動	..... P 29

# 小郡市社会福祉協議会組織体制

令和5年3月31日



福祉なんでも相談

## コロナ禍の3年間を振り返り

コロナ禍の3年間、活動制限によって経済活動は停滞し、国の救済措置の一つである特例貸付をとおして様々な生業、多くの困窮者を目の当たりにしました。

貸付額は小郡市だけでも3億円を超え、福岡県では835億円、全国では1兆4,431億円となっています。

当初はサービス業、特に飲食、接客、運輸業に従事される方が多く、次第に製造業にも広がりを見せ、借受人の中には非正規労働者、高齢者、また、緊急事態宣言下によって子育てのためやむなく仕事を休まなければならない、減収した世帯など先の見通しが立たない、アフターコロナと言われるようになったとしても一時的な減収とは考えにくい、コロナ禍前から困窮されていた方が多くいます。

更に、その中の共通した課題には、仕事が見つかりにくい、頼れる家族や親族がいないことによる社会的孤立もあります。

国からは、非課税者等の借入金免除や低所得者の償還期間猶予を積極的に活用し、特例窓口である市区町村社会福祉協議会と生活困窮者自立相談支援窓口が連携し、支援をするよう再三にわたり通知が来ています。

その為、当会は都道府県社会福祉協議会事業から「コロナ特例貸付」、コロナ対策給付金「生活困窮者自立支援金」を市から受託、従来より市から受託している「住居確保給付金」「生活困窮者自立支援相談」の四事業を行い一元的窓口として実施し、また、特例借受人の支援業務の一部を福岡県社会福祉協議会から受託し、令和5年度から正規職員1名を採用することとなりました。

コロナ禍の社会的孤立の課題は、コロナに感染した際の生活にも直結するため、当会では他市の取り組みを参考に、コロナ感染した自宅療養者に対する買い物代行支援を行いました。

ふれあいネットワークでは活動制限中の社会的孤立解消の為「脳トレ！宝満ノート」を作成し、民生委員児童委員協力のもと訪問活動やサロンでの活用を行っていただきました。発刊以降、高評価をいただき、問い合わせも多く市外からの問い合わせもありました。「脳トレ！宝満ノート」の裏面には「福祉なんでも相談」を広報掲載し、それを見た方からの相談が来ています。

また、市民の方々から令和2年全国民に支給された「新型コロナウイルス感染症における特別定額給付金」を、コロナ禍において困っている方に活用して欲しいと783,142円の寄付があり、寄付を財源に、生活困窮者支援として日常生活用品（トイレトーパー・指定ごみ袋・マスク等）を購入し配布、また、市民の方が特別定額給付金で購入された白米100キロの寄贈を受け母子世帯に配布しました。

コロナ禍といった非常事態での取り組みでしたが、民間福祉団体である社会福祉協議会は、地域の課題とニーズに対し、柔軟な取り組みが必要な組織でなければならないと改めて考えさせられた3年間でした。

## 令和4年度 総括

令和4年度の活動方針及び重点活動の要点は「相談機能の強化」でした。

これは、事務所に窓口を設置し相談を待つものではなく、当会が行っている事業に関する個別援助の相談のみならず、社協組織全体が一体となって取り組み、「断らない」ことを前提に①属性や世代を問わない②支援機関と連携し対応する③複雑化・複合化した課題は多機関協働で取り組むもので、これは、国が推進する「重層的支援体制整備事業」の「包括的な相談支援」そのものです。

令和4年度の取り組みとして、当会のホームページや広報に「福祉なんでも相談」を掲げていますが、職員間での情報共有や組織一体となった取り組みが出来ていたとは言えない状況でした。その為、包括的な相談支援を行うために、計画的に情報共有し可視化し学習していく必要があります。

基盤強化について、共同募金については実績が減少しており、配分事業内容（地域貢献）や税金控除のPR方法を検討する必要があります。

寄付金は市民の皆さまのご厚意により昨年度より増額となっておりますが、香典返し寄付については減少傾向にあり、背景として家族葬の増加と現在の社会情勢による経済的な理由が大きいと考えられますが、若年層における香典返し寄付行為そのものの認知が懸念されます。

社協会費の団体会費については、例会等で声掛けを行い昨年同様の実績となっておりますが、戸別・個人会費については、昨年実績に届かず大変厳しい現状となっております。共同募金同様、市民の皆さまに事業内容等周知し理解を図る必要があります。

職員の資質向上及び円滑な事業推進のため、本会宛に案内された研修・講習会は積極的な参加に努めました。

情報発信について、相談、ボランティア、広報全てにおいて情報発信は重要で、特に若年層を対象とした情報発信にはSNSやICTが不可欠となっておりますので様々な情報伝達媒体を活用する必要があります。

生活困窮者自立支援事業については、相談者の状況に応じて関係機関と連携を図りながら課題解決に向けて取り組むことが出来ましたが、コロナ特例貸付が終了し貸し付けの相談が増えています。多機関からの紹介でつながるケースが増え、対応が困難なケースも多く関係機関との連携や情報共有が不可欠となっております。また、相談内容によっては対応に戸惑う課題が複合的なケースもあるため、より職員の資質向上を求められました。

# 事業概要

## 1. 社会福祉協議会運営基盤の強化

### (1) 財源の確保

#### ① 賛助会員制度の推進

市民の「福祉参加」として社協事業に賛同いただき、会費を通して様々な福祉活動を資金面で援助いただくため、賛助会員制度の推進に取り組みました。

会 員	件 数	会 費 額 合 計
個人会費	128 件	241,000 円
法人・団体会費	31 件	203,000 円
戸別会費		2,404,500 円
計	159 件	2,848,500 円

#### ② 寄付金等の受入れ

市民の方から、また団体から福祉活動に活用してほしいと温かいご寄付をいただきました。

	件 数	寄 付 金 額 合 計
香典返し寄付	12 件	520,000 円
一般寄付（物品寄付 5 件含）	53 件	1,201,976 円
計	65 件	1,721,976 円



森田建設様より  
子ども用車椅子、乾湿両用掃除機の寄贈



久留米法人会様より  
デジタル一眼レフカメラの寄贈

#### ③ 赤い羽根共同募金活動の推進（後述）

### (2) 役員会等の開催

健全な事業運営のため、理事会・評議員会等を開催し、社協全体の事業等に関する審議を行い、事業の健全経営や透明性を図るため、監事による会計監査を実施しました。

【役員会等の実施状況】

名 称	月 日	内 容
監 査	令和4年5月17日	・令和3年度第3期監査（決算監査）
理 事 会	令和4年5月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務事務委託契約締結について</li> <li>・令和4年度生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務計画（案）について</li> <li>・令和4年度資金収支補正予算（案）について</li> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度収支決算について</li> <li>・評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>・定時評議員会について</li> <li>・会長の職務執行状況について</li> </ul>
評議員選任・解任委員会	令和4年5月31日	・評議員の選任について
評議員会	令和4年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度収支決算について</li> <li>・令和4年度生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務計画（案）について</li> <li>・令和4年度資金収支補正予算（案）について</li> <li>・理事の選任について</li> </ul>
監 査	令和4年9月20日	・令和4年度第1期監査
監 査	令和5年1月31日	・令和4年度第2期監査
理 事 会	令和5年3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度収支補正予算について</li> <li>・令和5年度事業計画（案）について</li> <li>・令和5年度収支予算（案）について</li> <li>・役員等賠償責任保険契約締結について</li> <li>・評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>・評議員会について</li> <li>・会長の職務執行状況について</li> </ul>
評議員選任・解任委員会	令和5年3月17日	・評議員の選任について
評議員会	令和5年3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度収支補正予算について</li> <li>・令和5年度事業計画（案）について</li> <li>・令和5年度収支予算（案）について</li> <li>・理事の選任について</li> </ul>
監 査	令和5年5月19日	・令和4年度第3期監査（決算監査）

（3）職員研修への参加及び実施

福岡県社会福祉協議会・両筑地区社会福祉協議会連絡会等が実施する各種研修・講習会やオンラインを活用した会議・研修会に積極的に参加し、福祉施策やニーズの変化に対応できるよう職員の資質向上に努めました。

【研修会等参加状況】

《役職員に関する研修》		《主催》	《期日》
1 1 市社協連絡会	連絡会		11/25
会長・局長研修会	福岡県社協		12/23
《総務関係研修》		《主催》	《期日》
災害ボランティアセンター設置運営訓練	福岡県社協		6/16
安全運転管理者講習会	安全運転管理協議会		6/24
福岡県共同募金会担当職員研修会	福岡県共同募金会		7/27
小郡市人権・同和教育研究協議会研修	社会教育部会		10/22
防災キャンプニシハラサバイブ	熊本県西原村大切畑自治会		11/5・6
災害ボランティアセンター設置運営訓練	両筑地区社協連絡会全体研修		11/19
市町村社会福祉協議会会計セミナー	福岡県社協		1/13
福祉サービス苦情解決従事者研修会	福岡県社協		2/1
職員人権学習	小郡市社協		3/20
《地域福祉に関する研修》		《主催》	《期日》
共同募金分配事業について	両筑社協地域福祉職員部会		8/30
受託事業から社協のアイデンティティを考える	福岡県地域福祉活動連絡会		10/21
社協が行う相談支援～社協の存在意義と強み	両筑社協地域福祉職員部会		11/24
広報力強化研修	福岡県社協		11/29
社会福祉士実習指導者講習会	福岡県社会福祉士会		12/16・17
生活支援コーディネーター研究協議会研修会	研究協議会		1/25
生活支援コーディネーター連絡会	福岡県		1/27
「地域」と連携した専門職の「他機関連携」とは	大刀洗町社協		1/29
ファシリテーション力講座	福岡県地域福祉活動連絡会		2/10
地域共生社会に向けた住民主体の地域づくり	さわやか福祉財団		2/27
住民主体の地域づくりを深め広げるために	福岡県社協		3/3
《相談・権利擁護に関する研修》		《主催》	《期日》
ライフレスキュー事業サポーター養成研修全4回	ライフレスキュー運営委員会		4/14～
生活福祉資金事務説明会 計2回 5/26・9/28	福岡県社協		5/26
日常生活自立支援専門員研修会 計3回	福岡県社協		6/10～
ひきこもり支援者研修	福岡県精神保健福祉センター		7/29
生活福祉資金システム説明会	福岡県社協		8/19
福岡県法律相談合同研修会	福岡県弁護士会筑後部会		10/25
福岡県障害者就業・生活支援センター合同セミナー	就業・生活支援連絡会		10/21
成年後見市町村申立研修	福岡県社協		11/9
フードバンク福岡シンポジウム	フードバンク福岡		11/29
生活困窮者自立支援全国研究交流大会 全7回	全国ネットワーク		11/12～
生活困窮者自立相談支援従事者養成研修 全4回	厚生労働省		9/21～
筑後地区高齢者障害者支援連絡協議会研修会	高齢者障害者支援連絡協議会		12/13
福岡県ひきこもり支援者地域ネットワーク会議	福岡県精神保健福祉センター		1/16
生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修	全国ネットワーク		1/26・27
精神障がい者研修	福岡県		2/3
筑後地区高齢者障害者支援連絡協議会事例検討会	高齢者障害者支援連絡協議会		2/10
就職氷河期世代支援の連携に関する講習会	福岡県		2/10
権利擁護研修会	小郡市地域包括支援センター		2/22
生活困窮者自立支援事業従事者スキルアップ	福岡県		3/8
《ボランティアに関する研修》		《主催》	《期日》
両筑地区社協ボランティア担当職員意見交換会	両筑社協連絡会		5/23・11/28



## 2. 相談事業

### (1) 無料法律相談会の実施

弁護士による無料法律相談会を実施

毎月第2・4木曜日 13:00~16:00	実施回数 21回	弁護士1名 福岡県弁護士会筑後部会から派遣
--------------------------	----------	--------------------------

【相談実績】

#### ① 相談者

年 代		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	不明
116名	男性	1	3	6	6	10	16	6	1
	女性	0	8	9	9	13	15	13	0

#### ② 相談内容別件数 \*一件の相談に複数相談内容有

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
相 続	34	土地・境界	8	通行地役権	1
離 婚	10	事 故	1	自治会	3
多重債務	1	近所トラブル	5	福祉施設トラブル	2
借金・金銭トラブル	12	労 働	6	ペット	1
保証人	2	保険金	1	被害妄想	2
年 金	1	契約トラブル	19	団体運営	1
住 宅	6	戸 籍	1	宗 教	2
家族・親族トラブル	9	医 療	1	肖像権	1
合 計			130	件	

### (2) 他機関による無料相談会

相談会	開催日	場 所	主 催	相談件数
無料調停 相談会	令和4年 11月13日(日) 9:00~15:00	あすてらす 視聴覚室	久留米 調停協会	9件
司法書士による 無料法律相談会	令和5年 3月11日(土) 10:00~13:00	あすてらす 会議室	福岡県 司法書士会 筑後支部	5件

### (3) 生活困窮者自立相談支援事業

様々な理由によって生活困窮に陥った方の包括的な相談に応じるため面談を行い、本人の同意のもとに支援計画を作成、伴走型の支援を行う生活困窮者自立支援事業を小郡市より受託し実施しました。

新型コロナウイルス対策による特例貸付や住居確保給付金要件緩和、自立支援金などの各施策の窓口となっていたため、コロナ禍前に比べ令和3年度をピークに相談件数が増加し、また、社協は「生活費の借入が出来る」と認識され、相談最初の主訴が「お金を貸して欲しい」と言われることが多くなりました。

その他にも、引きこもりや離婚相談などが増えています。

① 令和4年度新規相談件数

【令和4年度月別新規相談件数】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	10	14	17	10	5	15	9	12	9	11	16	11	139
プラン策定前に終了	8	9	15	8	5	13	5	10	3	10	12	11	109
情報提供・相談対応のみで終了	2	2	5	1	0	2	3	6	2	3	5	5	36
プラン策定前に支援中断終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他機関へのつなぎ	6	7	10	7	5	11	2	4	1	7	7	6	73
生活福祉資金の申請または検討	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1	1	7
緊急援護資金の申請または検討	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	2	1	7
日常生活自立支援事業に移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活保護へつなぎ	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	5
コロナ特例貸付	5	3	7	6	3	9	0	0	0	0	0	0	33
住居確保給付金	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生活困窮者自立支援金	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
その他関係機関	0	0	2	0	1	1	1	0	1	4	3	3	16
プラン策定	2	5	2	2	0	2	4	2	6	1	3	0	29
支援終結	0	1	1	2	0	1	1	0	1	0	0	0	7
支援継続中	2	2	0	0	0	1	3	2	5	1	3	0	19
中断	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
未同意・同意に向けての取り組み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

平成29年度からの継続支援	1件
平成31年度・令和元年度からの継続支援	3件
令和2年度からの継続支援	6件（令和4年度終結2件 中断2件）
令和3年度からの継続支援	15件（令和4年度終結9件 中断2件）
令和4年度新規支援	45件（内終結15件 中断2件）
令和4年度末継続支援中	36件

② 相談者の来所経路

関係機関	福祉課生活福祉係（生活保護）	9件	計139件
	障がい者関係機関	2件	
	子育て関係機関	12件	
	その他関係機関	7件	
本人直接		103件	
家族・知人		6件	

③ 地域の資源活用及び開発

1	食糧・物品等支援 ①社会福祉法人美光瑞園会（天心園パン）：令和元年7月23日食品譲渡について覚書 ②フードバンク福岡：平成30年3月8日基本合意書 令和4年度 計24回受給 ③セブンイレブン・ジャパンからの寄贈品：令和5年1月19日受取食品12箱雑貨9箱
2	市民からの寄贈 【食品】米・ジュース・お菓子・食用油・インスタント食品 【物品】大人用紙パンツ、パット・新生児用おむつ・マスク・タオル・布巾 ボディウォッシュ・洗剤・石鹸・ちり紙・チャイルドシート
3	ふくおかライフレスキュー事業
4	他市町社会福祉協議会による広域の寄贈物物品のやり取り

④ 支援調整会議開催

回	開催日	新規計画案件	継続支援案件	終結案件	中断案件
第29回	5月17日	7	5	3	0
第30回	7月5日	12	1	2	1
第31回	8月23日 書面決議	2	4	0	1
第32回	10月14日	5	4	3	2
第33回	11月15日	8	1	7	0
第34回	12月13日	1	3	1	4
第35回	2月3日	6	3	6	0
第36回	3月7日	4	7	3	0

(4) 住居確保給付金支給事業

新型コロナウイルス感染症の影響による住居確保給付金の受付申請を行ってきました。

申請者の中にはコロナ前から低収入世帯、また高齢で離職・減収し再就労が厳しい方など、受給中の就労収入によって自立できた方は多くありません。

受給後も継続的な支援が必要になっています。

改正後	改正前
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を行う個人が当該事業を廃止した場合</li> <li>・就業している個人の給与その他の業務上の収入を得る機会が当該個人の責めに帰すべき理由又は当該個人の都合によらないで減少し、当該個人の就労の状況が離職又は前文の場合と同等程度の状況にある場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離職又は廃業した日から2年を経過していない方</li> </ul>

令和2年 4月20日通知：初回申請／3ヵ月

但し常用就職が出来なかった場合は延長・再延長申請可  
最長9ヵ月間の支給可

令和2年12月 8日通知：再々延長申請可／最長12ヵ月の支給可

但し令和2年度内の新規申請者のみ

令和3年 2月 1日通知：特例措置再支給申請可

令和3年3月31日（のちに令和4年3月31日までに  
変更）までの間に支給が終了したもので、引き続き経済  
的に困窮が続く場合 \*受給期間中求職活動が必須

令和5年 2月28日通知：令和5年4月から求職活動要件緩和措置の廃止

●申請者（令和2年新規申請者）

申請者数	35件
初回受給〈3ヵ月間支給〉 *35件申請内不支給1件、取り下げ4件 ・コロナ特例貸付と併用申請者（27件）	30件
延長受給〈6ヵ月支給〉 *25件申請内2件不支給	23件
再延長受給〈9ヵ月間支給〉 *18件申請内3件不支給	15件
再々延長受給〈12ヵ月間支給〉 *10件申請内1件不支給	9件
再支給受給 *9件申請内1件不支給	8件

●申請者（令和3年新規申請者）

申請者数	11件
初回受給〈3ヵ月間支給〉 ・コロナ特例貸付と併用申請者（8件）	11件
延長受給〈6ヵ月支給〉 *5件申請内1件不支給	4件
再延長受給〈9ヵ月間支給〉 *3件申請内1件不支給	2件
再々延長受給〈12ヵ月間支給〉	1件
再支給受給	0件

●申請者（令和4年新規申請者）

申請者数	17件
初回受給〈3ヵ月間支給〉 *10件申請内1件取り下げ、1件不支給 ・コロナ特例貸付と併用申請者（1件）	8件
延長受給〈6ヵ月支給〉	5件
再延長受給〈9ヵ月間支給〉	4件
再々延長受給〈12ヵ月間支給〉	0件
再支給受給	9件

(5) ふくおかライフレスキュー事業小郡地区連絡会

平成27年度末に「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立し、公益性、非営利性が極めて高い社会福祉法人には、「地域における公益的な取組み」を実施することが責務として規定されています。

福岡県社会福祉協議会及び福岡県社会福祉法人経営者協議会では、地域における公益的な取組みのひとつとして、福岡県内の社会福祉法人が連携し生活困窮等に陥っていても既存制度では解決できない方々等に対して、地域の社会福祉法人がそれぞれの専門性や社会資源を活かして支援を行う「ふくおかライフレスキュー事業」を進め、小郡市内においても平成31年2月に「小郡地区連絡会」を発足しました。

令和2年度からコロナ禍において小郡地区連絡会の集合開催は出来ませんでしたが、下記事業を実施しました。

- ① ライフレスキュー事業申請 0件  
② 小郡地区連絡会の開催 \*新型コロナウイルスの影響により書面決議で同意

令和4年9月8日

【参加団体】 市内15法人 協力事業所1社 市福祉課・介護保険課

【協議事項】

1. 令和3年度事業報告について
2. 令和4年度事業計画予算について

- ③ 小郡地区連絡会独自の公益事業について

●もったいないプロジェクト

地域の方から寄せられる寄贈物をストックし、必要とされる方との調整を行っています。

令和3年9月から期間限定で、寄せられた紙おむつ、紙パンツ、パッドなど臨時窓口を設置して配布し、その後も令和4年度は市民の方から5件の寄付があり、14件の配布を行いました。

●小郡地区連絡会による清掃支援

清掃支援は認知症や様々な要因により、生活する上で衛生環境の悪化が著しく見られ、保健衛生上何らかの支援が必要にもかかわらず、経済的な理由等により改善が困難な方に対し、当会会員及び支援団体の中から無償で支援協力を頂ける方を募り、サービスを提供しています。

ケース1	男性一人暮らし。今まで相談できる人がおらず、認知機能の低下により、自宅内はインスタント食品容器や空袋のゴミなどが散乱
------	--



清掃前



清掃後

(6) 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある方で、判断能力が十分でなくても地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用援助や預金通帳印鑑等の預かり、公共料金等の支払いの代行を行うサービス事業を実施しました。

複合的なサービスの支援が必要となっている一人暮らしの高齢者や精神障がい者から、専門員に寄せられる日常的な生活相談が増えています。

専門員 2名 (1名兼任)	困りごとや悩みごとの相談を受け、相談者からの要望をもとに適切な支援計画をつくり、契約を行い、継続して相談支援を行う
生活支援員 3名	支援計画に沿って、定期的に訪問。福祉サービスの利用手続きや預貯金の出し入れを行う。臨時職員として雇用契約をしている

① 契約者数 (令和4年4月1日から令和5年3月31日)

日常金銭管理	年金・福祉サービス利用料・医療費・公共料金・生活費の支払い、預貯金の払い出し、預入等の代行	28件
	小郡市社協で通帳の預かり	28件
書類の預かり	年金証書・預貯金通帳・権利書等 (福岡銀行小郡支店貸金庫)	22件

② 日常生活自立支援事業訪問活動回数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	高齢者	8	8	13	5	6	10	8	6	11	11	8	7	101
	知的障がい者	11	12	11	12	6	8	9	13	12	10	10	12	126
	精神障がい者	15	13	18	13	10	19	15	18	23	21	19	20	204
計		34	33	42	30	22	37	32	37	46	42	37	39	431

③ 日常生活自立支援事業相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規契約者	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	2	6
契約終了者	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	5

\*終了者：後見人移行3名 転院1名 施設入所1名

## (7) 福祉なんでも相談

「住民の身近な相談窓口」として令和2年11月に開設した「福祉なんでも相談」は「どうすればよいのか？どこにいけばよいのか？」といった困りごとや悩みごとを受け止め、関係機関や団体などと連携し必要なサービスを紹介しながら相談者と共に考え、問題解決の糸口を一緒に探していく「断らない相談」を実施しました。

### ① 相談実績

#### 【電話・来所等による相談】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談のみ	2	1	10	4	5	4	1	4	7	0	1	1	40
解決	1	2	0	0	2	2	0	0	0	0	2	0	9
関係機関へ繋ぐ	3	6	2	2	2	0	2	4	0	3	2	0	26
その他	0	1	0	1	0	0	2	1	0	5	5	1	16
支援決定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	10	12	7	9	6	5	9	7	8	10	2	91

#### 【相談経路】

電話	来所	訪問	その他	計
61	22	1	7	91

【ホームページによる相談】24時間いつでもスマホ・パソコンから相談できる「相談フォーム」から相談を受け付け

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	3	1	1	0	2	1	2	3	1	1	1	3	19

### ② 相談内容の一部

電話来所などによる相談	ホームページによる相談
海への散骨・相続・介護タクシー紹介 隣人宅の庭木雑草・もらい火事について	市内就労支援事業所商品について 無収入・オムツの寄付・職員募集

### ③ 関係機関並びに関係会議など

複合的な問題を抱えた相談や社協内での解決が難しい課題に対し、関係機関へつなげられるように既存の会議体でネットワークづくりを行いました。

会議名	参加団体	開催日時
社協と包括支援センター会議	小郡市地域包括支援センター	年6回
グローバルネットワーク おごおり	市福祉課、こぐま福祉会、サポ ネットおごおり	年6回
自立支援協議会運営会議	市福祉課、市内障がい児者事業 所、医療機関等	毎月
自立支援協議会ネットワーク会議	市内障がい児者事業所	年3回
利用者支援連絡会	健康課、保育所・幼稚園課、福 祉課、子育て支援課	年12回
市福祉課会議	市福祉課との会議	年10回
重層的支援体制整備事業 関係課会議	市福祉課地域福祉係、長寿支援 課子育て支援課	2月、3月

④ 多機関による協働の支援体制（ボランティア団体の立ち上げ）

ボランティアからの相談により、関係機関と協議し障がい児・者の見守り支援のボランティア団体「おむすびころりん応援団」を令和4年4月に発会。

公的サービスでは補えない障がい児・者のちょっとした困りごとに対応した居宅介護ヘルパー交代時の短時間見守りや、家族だけでは大変な外出時などの支援活動を行いました。

関係機関：市人権・同和教育課、サポネットおおおり、  
しょうがい者と共に生きるみんなのかえるランド  
こぐま福祉会、市社協ボランティアセンター、当事者保護者

(8) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーターの配置）

高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるような支え合いの地域づくりを推進しています。地域の課題や資源を把握し、支援ニーズと生活支援などのコーディネート機能を担いました。地域での助け合いやサービス事業主体などと連携して支援体制の充実・強化を目的としています。

① 地域ニーズと資源の把握に関する業務

会議名	内容	開催回数
地域ケア会議(西包括)	事例検討(6事例)	4回
地域ケア会議(南包括)	事例検討(4事例)	4回
地域課題検討ケア会議	東野校区	1回

② 高齢者の地域での居場所・社会参加の場のコーディネート業務

高齢者地域資源一覧表とマップの作成(6月1日・12月20日発行)

③ 地域支え合い推進員会議(担い手育成/愛称: ささえ愛隊小郡)

会議名	内容	回数	参加
地域支え合い推進員座談会	住み慣れた地域に、あったらいいな	2回	27名
ささえ愛隊小郡定例会	勉強会・地域の居場所づくりについて	6回	58名
ささえ愛隊小郡プレカフェ	高齢者との交流の方法を学ぶ	1回	40名

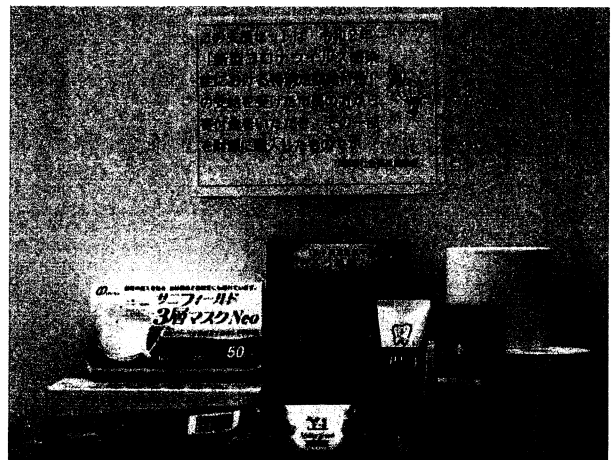
④ 会議・連絡会等(オンライン研修)

開催日時	内容
R4年4月16日	大原校区老人クラブ 健康講座(生活支援体制整備事業)
R4年8月3日	生活支援体制整備事業検討会議
R4年9月1日	研修①目指す地域像の算定及び実現のための工程表
R4年9月2日	研修②ご近所の助け合いが自然に行われる地域をどうつくるか ③地域は、地域で孤立しがちな人とどうつながるか
R4年9月28日	合鍵預かり事業検討会
R4年10月21日	生活支援体制整備事業検討会議
R4年11月1日	個人ボランティア連絡会研修(やすらぎ荘・ハンデイ移送)
R4年11月5日	立石校区 SOS ネットワーク模擬訓練
R5年2月15日	生活支援体制整備事業検討会議
R5年3月3日	研修会: 住民主体の地域づくりを深め、広げるために

(9) 新型コロナウイルス感染症における特別定額給付金寄付を財源とする物資支給

令和2年「新型コロナウイルス感染症における特別定額給付」の支給を受けた市民の方からの寄付を財源に物品を購入し、生活が困窮している世帯に対し累計で139世帯に配布しました。

<p>【物資】</p> <p>シャンプー・リンス・石鹸・歯磨き粉 トイレットペーパー ティッシュペーパー・指定ごみ袋</p>
--



(10) 新型コロナ感染者等への買い物代行支援事業

新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者として保健所から自宅待機を求められた方（世帯）で、親族等周りからの支援を受けることができない方（世帯）に対して食料品や日用品の買い物代行支援を行いました。

【実績】

	相談件数	支援世帯
令和3年度	29件	14件（内2世帯2回利用）
令和4年度	59件	32件（内9世帯2回利用）

3. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金及び緊急援護資金

令和4年度も新型コロナウイルス特例貸付に貸付相談が流れ、教育支援資金のみの実績となりました。

母子・父子世帯の申請が7件、そのうち生活保護受給世帯が1件。

緊急援護資金貸付の内訳は、生活保護初回受給までのつなぎ資金が18件、つなぎ資金ではなく特別な緊急時と判断したケースが1件、令和4年度のみ貸付償還率は75.4%となっています。

【実績】

種類		貸付決定件数	令和4年度貸付金額
総合支援資金	生活支援費	0	
福祉資金	福祉費	0	
	緊急小口資金	0	
教育支援資金	教育支援費	11	4,941,200円 *申請は11件、内10件が教育支援費・就学支度金の併用
	就学支度費	10	
不動産担保型生活資金	一般世帯向け 要保護世帯向け	0	
緊急援護資金 (小郡市社協独自貸付)		19	令和4年度貸付総額 570,000円 4年度貸付分償還金額 430,000円
計	令和4年度	31	
	令和3年度	26	



## (2) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付

令和2年3月10日「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」の発表が行われ、生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を実施することとなり、全国の市区町村社会福祉協議会が窓口となって申請受付を行いました。

当初の受付期間は令和2年3月19日から同年7月末までとされていましたが「コロナ禍における原油価格・物価高騰総合緊急対策」も相まって、10度にわたる受付期間延長により最終的に令和4年9月末までの3年6か月間の受付期間となりました。

また、申請者の増加により令和2年4月30日からは「ろうきん」、5月28日からは「郵便局」でも緊急小口資金のみの受付が行われ、令和2年9月30日終了しました。その為、ろうきん、郵便局で緊急小口資金を借り受けた件数は把握できず、以下の集計は当会のみでの申請件数となります。

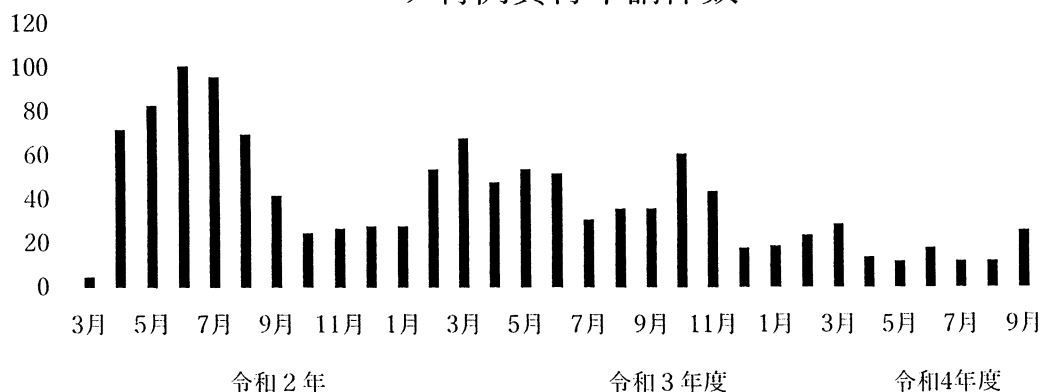
なお当会での受付は、総申請件数1,245件、実申請者数690名、総貸付金額3億8千5百8万円（福岡県全体約835億5,555万円・全国約1兆4,431億円）になります。

当会での特例貸付の特徴は、政令市を除き外国籍、特にネパール人留学生の貸付件数が多く、他市に比べ同国のコミュニティーの大きさがうかがえます。

### 【特例貸付制度】

	緊急小口資金 令和4年9月末まで	総合支援資金		
		初回 令和4年9月 末まで	延長 令和2年7月から 令和3年6月まで	再貸付 令和3年3月から令 和3年12月まで
貸付上限	【単身世帯】 原則 100,000 円以 内。但し、状況によ り上限 200,000 円ま で可	【単身】 上限額 45 万円 / 15 万円の 3 か月 【複数世帯】 上限額 60 万円 / 20 万円の 3 か月 * 初回から再貸付で最大で 9 か月申請可能		
据置	令和4年12月末まで据置 但し令和4年4月以降の申請者は令和5年12月末まで			
償還期間	2年以内	10年以内		
利息	償還期間内は無利息			
償還免除	借受人及び世帯主が償還時において、なお所得の減少続く住民税非課税世帯			
	令和3年度又は令和4年度非課税	令和5年度又は令和6年度非課税		
条件	新型コロナウイルス感染症によって、収入が減少した方 但し、世帯での貸付			

コロナ特例貸付申請件数



【月別申請件数】

	令和2年													
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談問合せ	12	140	95	110	150	91	72	46	42	42	39	91	109	1039
緊急小口資金	4	66	62	57	59	33	16	8	14	19	12	23	30	403
総合支援資金	1	6	21	44	30	17	12	10	8	5	12	11	14	191
総合支援資金延長	0	0	0	0	7	20	14	7	5	4	4	8	14	83
総合支援資金再貸付												12	10	22
申請件数計	5	72	83	101	96	70	42	25	27	28	28	54	68	699

	令和3年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談問合せ	51	62	63	46	47	47	38	37	21	29	39	39	519	
緊急小口資金	19	22	16	8	11	13	31	15	4	10	8	14	171	
総合支援資金	18	14	14	13	8	14	22	22	10	9	16	15	175	
総合支援資金延長	7	12	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	
総合支援資金再貸付	4	6	12	10	17	9	8	7	4	-	-	-	77	
申請件数計	48	54	52	31	36	36	61	44	18	19	24	29	452	

	令和4年度								総合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計		
相談問合せ	16	11	18	14	14	29	102	1660	
緊急小口資金	10	7	10	5	6	16	54	628	
総合支援資金	4	5	8	7	6	10	40	406	
総合支援資金延長	-	-	-	-	-	-	0	112	
総合支援資金再貸付	-	-	-	-	-	-	0	99	
申請件数計	14	12	18	12	12	26	94	1245	

【新型コロナウイルス特例貸付における経緯】

令和2年 3月	23日から受付開始
4月	30日「ろうきん」受付開始
5月	28日郵便局受付開始
6月	受付期間延長／令和2年9月30日まで延長（令和2年6月16日通知）
7月	総合支援資金貸付期間3ヵ月延長・最大6ヵ月間に延長（令和2年7月2日通知）9月末までに送金完了を迎える借受人へ通知文書送付
9月	受付期間再延長／令和2年12月31日まで（令和2年9月16日通知） ろうきん、郵便局9月30日受付終了
12月	受付期間再々延長／令和3年3月31日まで（令和2年12月9日通知）
令和3年 2月	総合支援資金再貸付／最大9ヵ月間の貸付（令和3年2月2日プレスリリース）2月17日押印廃止の通知
3月	受付期間延長3回目／令和3年6月30日まで（令和3年3月19日通知）
5月	受付期間延長5回目／令和3年8月31日まで（令和3年5月28日通知）
8月	受付期間延長6回目／令和3年11月30日まで（令和3年8月17日通知）
11月	受付期間延長7回目／令和4年3月31日まで
12月	総合支援資金貸付延長貸付12月31日まで
令和4年 2月	償還据置期間の再延長通知（令和4年6月まで） 受付期間延長8回目／令和4年6月30日まで（令和4年2月25日通知）
4月	受付期間延長9回目／令和4年8月31日まで（令和4年4月26日通知）
8月	受付期間延長10回目／令和4年9月30日まで（令和4年8月9日通知）
9月	特例貸付受付終了

【集計1】延申請件数

	緊急小口資金	総合支援資金			計	備考
		初回	延長	再貸付		
2年度	403	191	83	22	699	緊急小口資金取り消し2件 総合支援資金延長不承認16件 総合支援資金延長取り下げ1件
3年度	171	175	29	77	452	緊急小口資金取り消し1件 総合支援資金取下げ1件 総合支援資金延長不承認10件 再貸付不承認15件 再貸付取下げ1件
4年度	54	40	—	—	94	緊急小口資金不承認1件 緊急小口資金取消1件 総合支援資金取消2件
計	628	406	112	99	1,245	

【集計2-1】外国籍 延申請件数\* ( ) 内外国籍留学生数

	緊急小口資金	総合支援資金			計
		初回	延長	再貸付	
令和2年度	109 (84)	30 (11)	2 (0)	0 (0)	141 (95)
令和3年度	63 (55)	74 (59)	1 (0)	3 (0)	141 (114)
令和4年度	29 (10)	23 (14)	-	-	52 (24)
計	201 (149)	127 (84)	3 (0)	3 (0)	334 (233)

【集計2-2】国別 実申請者数

外国籍実申請者数	ネパール	フィリピン	スリランカ	ベトナム	インド
229	209	8	1	9	2

【集計3】母子・父子世帯 延申請件数

	緊急小口資金	総合支援資金			計
		初回	延長	再貸付	
2年度	35	17	7	1	60
3年度	9	8	4	4	25
4年度	8	6	0	0	14
計	52	31	11	5	99

【集計4】年代別 実申請者数

実申請者数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
690	2	275	120	118	91	57	26	1

【集計5】実申請者が貸付併用した件数

小口のみ	303	限度額 20万円
小口・総合	174	限度額 80万円
小口・総合・総合延長	57	限度額 140万円
小口・総合・総合延長・総合再貸付	45	限度額 200万円
小口・総合・総合延長【R3.7月以降】	46	限度額 140万円
総合のみ	58	市外又は、ろうきん・郵便局で小口申請
総合・総合延長・総合再貸付	1	
総合・総合延長	1	
総合・再貸付	1	
総合延長・総合再貸付	2	
延長	2	
実申請者数	690	

### (3) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の受託

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既にコロナ特例総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるための新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業を小郡市から受託し受付け窓口を設置しました。

【制度の内容\*委託契約期間：令和3年7月1日から令和5年3月31日】

支給対象者 *すべてに該当	コロナ特例貸付	緊急小口資金・総合支援資金をすでに借り終えている世帯
	収入要件	申請月に世帯全体の収入が一定金額以下の世帯 世帯人員によって異なる
	資産要件	申請月に世帯全体の預貯金が一定金額以下の世帯 世帯人員によって異なる
	求職活動要件	●月1回以上、自立相談支援機関の面接等の支援を受けること。 ●月2回以上、公共職業安定所又は地方公共団体が設ける公的な無料職業紹介の窓口で職業相談等を受けること。 ●原則週1回以上、求人先へ応募を行う又は求人先の面接を受けること。
支給額	単身世帯 月6万円×3ヵ月 二人世帯 月8万円×3ヵ月 三人以上世帯 月10万円×3ヵ月	

#### 【事業の改定】

開始時 通知令和3年6月	受付期間/令和3年7月1日から8月31日まで 支給対象要件/コロナ特例貸付総合支援資金再貸付借受終了者
通知令和3年8月	受付期間/令和3年11月30日まで延長
通知令和3年11月	受付期間/令和4年3月31日まで延長 支給対象要件/コロナ特例貸付総合支援資金借受終了者 再支給/3ヵ月間の再支給申請 求職活動要件緩和/ハローワーク及び地方公共団体が設ける公的な無料職業紹介の窓口
通知令和4年2月	受付期間/令和4年6月30日まで延長
通知令和4年4月	受付期間/令和4年8月31日まで延長 求職活動要件緩和
通知令和4年8月	受付期間/令和4年9月30日まで延長
通知令和4年9月	受付期間/令和4年12月31日まで延長

#### 【実績】

		延申請者件数		その他の支援状況		申請後の状況	
令和3年度	33件	初回受給者	23件	生活困窮者自立相談支援事業	13件	就労	7件
		再支給	2件	家計改善支援事業	8件	生保	8件
		不支給	6件	住居確保給付金	10件	従来からの就労収入	1件
		辞退	2件			不明	11件
令和4年度	56件	初回受給者	34件	生活困窮者自立相談支援事業	9件	就労	5件
		不支給	3件	家計改善支援事業	7件	生保	1件
		再支給	18件	住居確保給付金	10件	求職活動中	3件
		再支給(不支給)	1件			生活保護	1件
						不明	27件

#### 4. 福祉バス（さちかぜ号）運行事業

新型コロナウイルス感染予防対策として、引き続き乗車前の体調確認、手指消毒、車内消毒、マスク着用、移動途中の換気などを行いながら、社協や支援する団体が円滑な活動ができるように、ふれあいネットワーク事業、市内の福祉団体やボランティア団体等の研修、ボランティア活動、レクリエーション事業等、地域福祉の推進を図るためマイクロバスの運行を行いました。

【福祉バス利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和4度 運行回数	2	3	6	4	3	5	13	15	4	4	7	9	75
令和4度 利用人員	36	45	130	61	44	104	318	285	62	59	128	196	1,468
令和3度 運行回数	1	0	0	1	1	0	6	11	2	4	1	5	32
令和3度 利用人員	14	0	0	13	14	0	76	153	32	85	20	78	485

#### 5. 共同募金会（小郡市支会）

##### (1) 赤い羽根共同募金運動

地域の様々な課題に柔軟に対応する民間社会福祉活動の財源として、10月から12月まで赤い羽根共同募金運動を行い、行政区、関係団体・個人等の協力により、赤い羽根共同募金額は、8,912,758円の実績を上げることができました。

【各種募金実績】

(単位：円)

募金種別	令和4年度実績
戸別募金	5,687,650
街頭募金	52,686
個人・法人募金	1,628,889
設置募金箱募金	317,355
学校募金箱募金	182,647
資材（バッジ・ボールペン・クオカード等）募金	979,200
あすてらすフェスタ募金（開催中止）	0
自動販売機収入募金	64,317
預金利子	14
計	8,912,758



新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、街頭募金活動を実施しました。



「学校で募金を呼びかけ集めました。小郡のまちに役に立ててください。」と学校募金活動の報告を受け、募金箱を預かりました。

## (2) 共同募金小郡市支会理事会・監査

令和4年6月29日	・令和3年度共同募金小郡市支会監査（会計監査）
令和4年8月22日	・会長、副会長の互選について ・令和3年度共同募金事業報告について ・令和3年度共同募金収支決算について ・令和4年度共同募金資金収支補正予算（案）について
令和5年2月28日	・令和4年度共同募金事業報告及び 令和5年度事業共同募金配分（案）について ・令和5年度共同募金事業計画（案）について ・令和5年度共同募金収支予算（案）について

・共同募金運動のチラシ23, 100部を、10月1日に市内各世帯等に配布

## (3) 災害義援金の受付

災害により被災された方々の生活支援のため事務所窓口にて義援金募集を行いました。

名 称	受付期間
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	令和4年3月22日～令和4年6月30日
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	令和4年8月17日～令和4年12月28日
令和4年台風第15号災害静岡県義援金	令和4年9月27日～令和4年12月28日

## 6. 在宅福祉活動

### (1) 車いす対応車輛貸出事業

障がい者や歩行困難な高齢者に対して外出支援のため、車いす対応車輛を貸出しました。

【利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和3年度件数	7	6	3	6	2	5	3	3	1	2	0	0	38
令和4年度件数	1	1	3	3	2	1	1	2	1	0	1	3	19

### (2) 障がい児長期休暇スクールの実施

市内在住の障がい児（小中高生）が長期休暇中にスクールに参加して、ボランティアと楽しく過ごし、障がい児同士の交流と同時にボランティアの育成を目的として市福祉課、NPO法人サポネットおごおり、こぐま福祉会との共催により実施しました。参加ボランティアはコロナ禍のため市内募集に限定しました。コロナ禍の影響と、市内の放課後等デイサービスの充足により利用者数が減少しております。放課後等デイサービスとの差別化を図れるような体験イベントを企画していく必要があります。

#### ① サマースクール

日 付	令和4年8月8日	令和4年8月9日
内 容	【ボランティア事前研修会】 ・障がいについての講話 ・車いす、白杖、アイマスク体験	【スクール】 ・夏祭り（ヨーヨー釣り、かき氷など） ・うどん調理体験・ウォークラリーなど
参加者	ボランティア 15名	参加者7名 ボランティア22名
時 間	10:00～11:30	9:00～16:00
会 場	「あすてらす」（多目的ホール）	

② スプリングスクール

日付	令和5年3月27日	令和5年3月28日
内容	【ボランティア事前研修会】 ・障がいについての講話 ・車いす、白杖、アイマスク体験	【スクール】 ・パン調理体験 ・運動公園ウォークラリー
参加者	ボランティア 15名	参加者 8名 ボランティア 25名
時間	10:00~11:30	9:00~16:00
会場	「あすてらす」(多目的ホール) 小郡運動公園	



(3) 障がい児タイムケア事業の実施

障がい児の放課後や長期休暇中の居場所づくりとボランティアとの交流を目的とした障がい児の一時預かり事業を週1回(利用者約7名)実施しました。

回	月	日	利用者数	スタッフ数
1	5	12	5	10
2		19	4	8
3		26	4	9
4	6	2	3	8
5		9	6	8
6		16	5	8
7		23	6	10
8		30	3	7
9	7	7	5	8
10		14	5	9
11		21	5	9
12		28	4	8
13	8	4	6	5
14		18	5	7
15		25	5	8
16	9	1	6	9
17		8	5	7
18		15	6	8
19		22	6	6
20		29	6	8

回	月	日	利用者数	スタッフ数
21	10	6	5	7
22		13	5	11
23		20	7	9
24		27	3	6
25	11	10	5	7
26		17	6	8
27		24	4	6
28	12	1	5	7
29		8	5	9
30		15	6	8
31		22	6	6
32	1	12	5	7
33		19	6	6
34		26	7	7
35	2	2	6	6
36		9	7	7
37		16	7	6
38	3	2	7	7
39		9	5	8
40		16	7	8
41		23	5	7
42		30	7	8
全42回			226名	321名

【会 場】 「あすてらす」(和室)、「大原きぼうの森館」(和室、大ホール)

【時 間】 15時から18時まで(学業中) 10時から16時まで(長期休暇中)

運動公園



だざいふえん



## 7. ボランティア情報センター事業

ボランティア情報センターでは、ボランティアに関する情報の収集・提供、ボランティアの養成、活動支援、広報啓発活動、相談受付・コーディネート、活動室や備品の貸出等を行いました。

### (1) ボランティア情報センター活動・利用状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
登録団体数		17	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	23	
登録	男性(人)	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	5	
	女性(人)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	4	
	合計(人)	0	0	1	4	2	0	0	0	0	0	0	2	9	
ボランティア情報センター	利用回数(回)	午前	3	8	11	4	2	3	2	2	5	5	1	3	49
		午後	5	4	7	5	4	2	0	0	2	3	5	4	41
		夜間	4	3	4	6	7	6	7	7	4	2	7	12	69
		終日	2	2	3	2	3	2	4	5	3	1	2	2	31
		合計	14	17	25	17	16	13	13	14	14	11	15	21	190
	利用人員(人)	午前	9	61	77	25	15	34	13	13	18	45	6	19	335
		午後	23	10	36	21	13	8	0	0	14	14	15	7	161
		夜間	34	17	21	32	38	49	28	56	48	7	66	108	504
		終日	7	9	22	18	22	12	36	26	20	3	21	7	203
		合計	73	97	156	96	88	103	77	95	100	69	108	141	1203
活動室利用	利用回数(回)	午前	10	13	12	9	4	8	9	4	6	7	9	4	95
		午後	4	4	6	4	3	4	6	5	5	4	7	5	57
		夜間	5	5	4	5	5	9	7	6	4	8	6	8	72
		終日	4	2	2	3	1	3	4	5	3	2	2	5	36
		合計	23	24	24	21	13	24	26	20	18	21	24	22	260
	利用人員(人)	午前	97	98	109	57	37	63	77	36	46	58	61	40	779
		午後	40	43	38	24	30	23	56	36	34	36	73	49	482
		夜間	54	63	45	62	62	101	79	45	58	78	89	99	835
		終日	37	8	20	28	3	16	31	37	20	15	24	34	273
		合計	228	212	212	171	132	203	243	154	158	187	247	222	2,369
保険	件数(件)	13	3	7	7	2	3	6	6	1	3	7	22	80	
	人数(人)	177	3	80	115	2	372	138	98	40	87	101	509	1,722	
相談件数(件)		8	10	8	10	10	5	4	7	4	4	7	10	87	



## (2) ボランティア講座の開催

### ①福祉レクリエーションボランティア講座の開催（全7回）

日 時：令和4年9月13日（火）～ 令和4年11月7日（月）まで  
 内 容：地域のふれあいネットワークのサロン活動等で活躍していただく  
 ボランティアの方を養成する講座を行いました  
 講 師：福岡県レクリエーション協会専務理事 佐藤 靖典 氏他  
 申 込 数：30名 途中辞退（体調等で）4名 実参加者 26名  
 参加者延：163名  
 県レク指導者認定申請：5名  
 開催場所：小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」内多目的ホール

	講座日程	内 容	参加
1 回	9/13（火） （14：00 ～16：00）	開講式	22名
		基礎講座1 アイスブレイキング&コミュニケーションタイム 今回初参加の方も、よろしくお願ひします！ ・飛び入り砥綿さんのリードで、気持ちよく歌ってみましょう！ 歌レクサ復習	
2 回	9/20（火） （14：00 ～16：00）	基礎講座2 ウォーミングアップ&レクタイム！ ・歌レクサ（新曲紹介）※お楽しみに！ ・コミュニケーションアップレクタイム！ ・ミニ講義：楽しい集いの演出	23名
3 回	10/11 （14：00 ～16：00）	基礎講座3 身近なものを使ってあそび発見！① ・新聞紙などの身近な素材を活かして「あそび発見！」 ・「あそ棒」を作って遊ぼう！ グループの創作力比べ！ ・歌レクサ（新曲復習）	22名
4 回	10/18 （火）	基礎講座4 身近なものを使ってあそび発見！② ・芸術の秋を楽しもう！「額縁写真館」 ※記念写真撮影！ ・歌レクサ（新曲復習&希望曲調査）	23名
5 回	10/25 （火）	応用編1 高宮講師による「創作ゲーム！」を楽しもう！ ・歌レクサ復習	25名
6 回	11/1（火）	応用編2 砥綿講師と「歌う喜び・楽しさをご一緒に！」 ・「ギターの演奏に合わせて歌いましょう！」小郡市合唱団誕生？ ・歌レクサ復習	26名
7 回	11/7 （月）	まとめ 歌レクサ総仕上げ復習 「レクリエーションは私たちを笑顔元気にしてくれる文化で す！」 ・まとめの講義：「あなたがつくる 幸福祉社会」 ・「寝たきりゼロへの10ヵ条」	22名

今回の講座は、音楽を取り入れた多彩なレクの仕方、新聞紙を使った体操やゲームなどがあり、習得されることが多くありました。

班に分け歌レクサの習得、最後に発表会では、皆さん真剣に取り組まれ、思考を凝らした歌レクサの発表、笛を吹いたりと有意義な講座となりました。



## ②災害ボランティア講座

災害ボランティアに関する心得などの基礎知識を習得し、防災に関する興味関心を持つことを目的に開催しました。

日時：令和4年6月18日（土）14：00～16：00

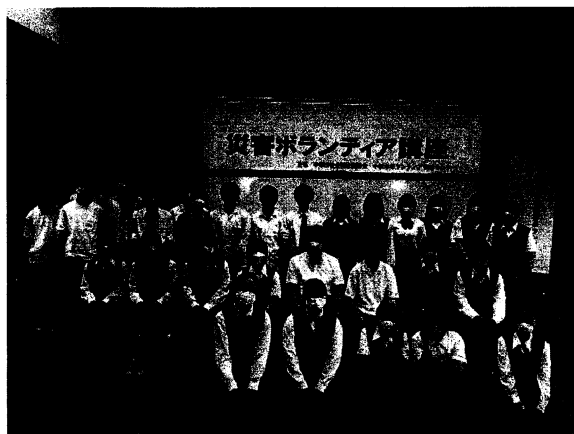
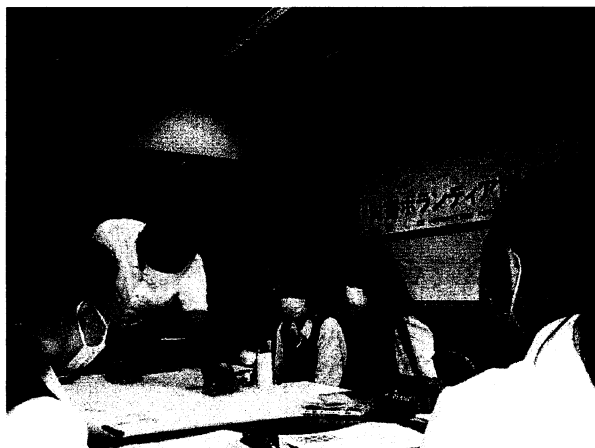
講師：一般社団法人 九州防災パートナーズ 藤澤 健児 氏

「～私にもできる災害ボランティア～」

申込み数 三井高校生 28名（参加者26名）

小郡高校生 7名（参加者 5名）

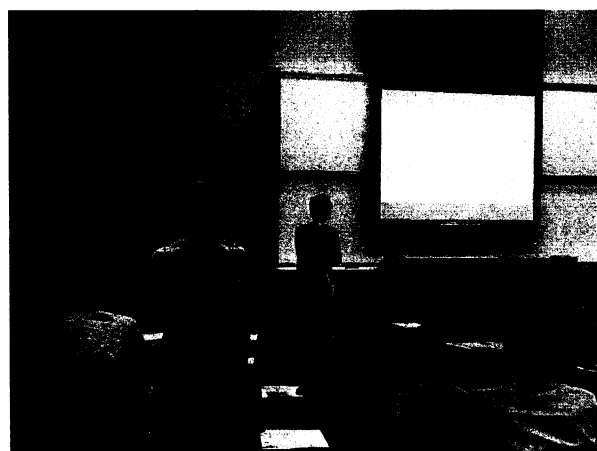
引率（教員） 2名（参加者 2名）



## ③ふくしセミナー（地域ボランティア講座）

定年退職後などのセカンドライフを心豊かに過ごすためには、地域や社会とバランスよくつながることが必要となり、セミナーではシニア世代を対象に、社会との接点を設けるための手段としてボランティア活動に焦点を当て、地域のボランティアの裾野を広げることを目的に開催しました。

開催日	開催場所	テーマ及び講師名	参加人員
9月16日	あすてらす 視聴覚室	映画「最高の人生の見つけ方」上映会	77
9月17日	あすてらす 視聴覚室	講演会「暮らしの中の終活」 講師：一般財団法人ウエルネスサポートLab 吉武ゆかり 氏	55



(3) ボランティア連絡協議会の活動

小郡市ボランティア連絡協議会の事務局を担当し、活動支援を行いました。

4月	11日	第1回役員会・会計監査
5月	22日	総会 54名参加 講演会 福祉課地域福祉係長 天野正治氏 「小郡市地域福祉計画における ボランティアの役割」
6月	10日	第1回理事会
7月	15日	ぼらネット 54号発行
8月	5日	第2回理事会
9月	9日	第3回理事会
10月	8日	第1回喜楽塾（「孤立無縁の方の生活支援について」 一般社団法人生活支援センター結 永田啓造氏）受講生 41名
	22日	第4回理事会
11月	12日	第2回喜楽塾（「あーくんが笑ったよ」 貢正晃氏）受講生 31名
	25日	第5回理事会
12月	10日	第3回喜楽塾（ボラ連団体紹介・市外団体紹介）受講生 24名参加 ぼらネット 55号発行
1月	14日	第4回喜楽塾（「LGBTQ+をはじめとする多様性の考え方」 荒巻明楽氏）受講生 29名参加
	27日	第6回理事会
2月	11日	第5回喜楽塾（「ちづる」上映会・終講式）受講生 46名参加
	19日	（参加）きずなフェスティバル
3月	11日	第7回理事会

## 8. 福祉・ボランティア団体活動支援

地域の様々な課題に柔軟に対応するため共同募金配分金を財源として公募による配分を行いました。

No.	団体名	事業の内容
1	傾聴ボランティア「でんでん虫」	高齢者等の福祉向上のため「心に寄り添う」傾聴
2	おもやい広場「くまさん文庫」	読書を通じて子どもたちに本の楽しさを教え、居場所づくりと子育て支援活動
3	NPO 法人しょうがい者と共に生きるみんなのかえるランド	障がい者の生活支援活動及びリサイクル品等販売事業で使用する持ち運び式簡易テントとキャリアワゴン購入費用
4	おごおりレク健康隊	おごおりレク健康隊（レクリエーションスキルアップ講座）
5	おごおりこどもひろば	週末学校休業日などに食事提供をし、安心して過ごせる、小中学生のこどもの居場所づくり
6	小郡市ふれあいネットワーク推進委員会	高齢者脳カトレーニング冊子作成配布
7	小郡市老人クラブ連合会	高齢者支援、見守り、触れ合い活動等（健康体操、フレイル講座等）
8		健康保持、スポーツ、健康講座活動等（グラウンドゴルフ大会、ダーツ大会等）
9	小郡市身体障害者福祉協会	障がい者差別解消法についての研修、意見交換会、日帰りバスツアー
10	小郡市母子寡婦福祉会	親子レクリエーション
11		一日父親行事
12	小郡警察署少年補導員連絡会	青少年非行防止・少年補導活動として、月2回の市内パトロールと年2回の深夜パトロール
13	久留米保護区小郡保護司会	月2回の青少年非行防止ため夜間街頭補導パトロール、社明運動の市内小中学生作文公募
14	小郡市保育協会	保育所が子育て支援をより充実させるための研修
15		保育フェスタ in おごおり
16	小郡市民生委員児童委員協議会	地域福祉広報啓発とし、懸垂幕、のぼり旗、パンフレット、ポケットティッシュ、民生委員児童委員ジャンパー、そして広報紙を作成
17		民生委員児童委員活動報告研修会 中止
18	小郡市青少年育成市民会議	子ども安全見守り隊ステッカー作成配布
19		広報「市民会議だより」の発行
20	小郡点訳蛍の会	市内小学校での点字学習指導、盲人会への情報提供、情報誌点訳発送
21	小郡手話の会	手話の習得（研修・活動）と 広報紙発行、活動者へのボランティア保険加入
22	小郡テープの会	市報の朗読録音、録音 CD 発送、NHK 日本語朗読セミナー参加
23	小郡要約筆記の会「たなばた」	聴覚障がい者支援サポーター講座・啓発冊子「聞こえにくい人が困らないために」作成
24	日本車椅子レクダンス協会小郡支部	身体不自由でも、高齢でもレクリエーションが楽しめるように車いすレクダンスを普及啓発活動
25	セラピューティック・ケア「えがお」	「手のぬくもりは心のぬくもり」をモットーに手のひらを使い、服の上から首や肩などを撫でること でケアするボランティア活動のための研修

No.	団体名	事業の内容
26	小郡市ボランティア連絡協議会 (ボラ連)	小郡市ボランティア連絡協議会の広報紙発行
		喜楽塾～やってみらんねボランティア～(ボランティア養成講座) ボラ連参加団体へ会員入会を目的に全5回講演会や映画上映で啓発
27	福祉教育協力校 市内小中学校 11校	福祉体験授業、高齢者・障がい者との交流や認知症サポーター養成講座の授業

## 9. 福祉教育事業

### (1) 市内小学校・中学校に対して福祉教育の援助

#### ① 福祉教育教材「ともに生きる」を配布

学校や家庭での福祉教育教材として活用するため、希望があった市内の6小学校の4年生と特別支援学校の作業福祉受講生(高等部2年)に431冊無償配布しました。

#### ② 小郡市社会福祉協議会福祉教育協力校指定

学校で取組む福祉教育活動、ボランティア活動を推進するため、市内の小・中学校および特別支援学校に助成募集を行い、助成を行いました。

学校名	福祉活動協力校の主な活動内容
大原中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習：手話体験</li> <li>意識啓発活動：性に関わる差別や暴力をなくすための医療・福祉の意義について学ぶ。</li> <li>人権・平和コンサート—平和の尊さや人間の尊厳についての講話とギター演奏</li> <li>平和学習(大刀洗フィールドワーク) —身近な地域の戦争実態をフィールドワークを通して平和の大切さを学ぶ。</li> </ul>
小郡中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>小郡特別支援学校と交流(メダルや歌・ダンスをビデオ撮影したものを届ける)</li> </ul>
立石中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習(車椅子・アイマスク・白杖)</li> <li>福祉体験学習(三井高校福祉教養コースの生徒による講話と手話体験)</li> </ul>
御原小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子ユーザーの方との交流</li> <li>アイマスクと白杖体験学習</li> <li>視覚障がい者・盲導犬との交流学習</li> <li>小郡特別支援学校と手紙を通して交流</li> <li>赤い羽根募金活動</li> </ul>
大原小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>「伝え合おう、わたしたちの心」障がいがある方や認知症への見方・考え方についての学習(4年)</li> <li>社会福祉理解促進活動「大原小アグリカルチャー大作戦」米作り体験(5年)で地域の方々と交流する。「ぐんぐんそだて わたしのやさい」(2年)地域の方々と交流しながら野菜の栽培活動を行う。</li> <li>赤い羽根共同募金活動</li> <li>社会福祉理解促進活動(点字体験)</li> <li>視覚障害者・盲導犬との交流</li> <li>人権の花ひまわりの栽培(5月)。花づくりを通して人権について考える。</li> </ul>
東野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤い羽根共同募金活動</li> <li>社会福祉理解促進活動(点字体験)</li> <li>視覚障害者・盲導犬との交流</li> <li>人権の花ひまわりの栽培(5月)。花づくりを通して人権について考える。</li> </ul>
三国小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉理解促進活動「人にやさしい町づくり」において、「蛍の会」による点字体験学習、視覚障がい者・盲導犬との交流、認知症サポーターの学習</li> </ul>
立石小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉理解促進活動 点字体験、盲導犬ユーザーの方との交流(4年)・小郡特別支援学校との交流(2年)、高齢者との交流活動 ひょうたん作り(4年)、</li> </ul>

学校名	福祉活動協力校の主な活動内容
	地域の高齢者に郷土料理を学ぶ(3、4、5、6年)。2023年の手作りカレンダーをグループホーム「風のふく丘」と「青壽苑」に贈りを交流する(3年)、認知症サポーター養成講座(3年) ・意識啓発活動 赤い羽根募金活動(児童会)
小郡小学校	・新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず。全額返金。
味坂小学校	・社会福祉理解促進活動 車椅子体験学習、車椅子ユーザーの方との交流。視覚障がい者、盲導犬との交流。 ・意識啓発活動 障害者福祉施設(風の丘)の施設長からの講話「障がいに対する偏見を直す」 ・地域づくり活動 地域行事参加(まつり味坂・ポピーの種まき・21の会との交流) ・赤い羽根共同募金活動
のぞみが丘小学校	・社会福祉理解促進活動 総合的な学習「よりよい暮らしをめざして」手話体験、視覚障害者との交流、点字体験、車いす・車いすバスケット体験 ・赤い羽根共同募金活動

## (2) 福祉用具教材及び車いすの貸出し

病気やケガにより車いすが必要な方に貸出しを行っています。  
 小学生の病気やケガ等による利用が増えてきたため、市内企業からジュニア用車椅子(2台)を寄贈頂きました。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸出物	車椅子	13	6	21	11	8	16	33	32	6	8	3	9	166
	(子ども用)	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	アイマスク	0	0	5	0	20	13	20	20	0	0	0	5	83
	白杖	0	0	5	0	21	34	10	20	0	0	0	5	95
	点字板	0	0	0	0	0	55	30	60	0	0	0	24	169
	思いやり君	0	0	0	0	4	6	8	3	0	0	0	0	21
	ダーツ	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	その他	0	1	0	1	0	0	0	4	2	0	3	0	11



東川結さんのお話を伺いました  
 味坂小学校4年生の総合学習授業



足のケガのため、ジュニア用車椅子を利用する1年生

## (3) 社会福祉協議会実習受入

社会福祉分野の実践者、専門職の育成を目的とした社会福祉援助技術実習について、久留米高等技術専門校介護サービス科の生徒を受け入れました。

日時	生徒数
令和4年 9月13日(火) 10:00~15:00	23名
令和5年 3月3日(金) 10:00~15:00	22名

## 10. 地域福祉活動

### (1) ふれあいネットワーク活動の推進

地域に住む住民一人ひとりが、それぞれの立場から無理のない形で孤立しがちな高齢者や支援が必要な対象者への声かけ訪問、見守り、その他簡単な生活の手助けをする中から、支援が必要な高齢者等の悩みや問題を早期に気づき、区長・民生委員児童委員や関係機関と連携し、その問題を解決する小地域福祉活動「ふれあいネットワーク」活動を推進しました。

#### ① 年間活動状況

月	日	事業	内容	参加
4月	9	第1回味坂校区健康福祉部会	・令和4年度事業計画 ・各区の状況について	18
	9	第1回大原校区健康福祉部会	・各グループの前年度の報告 ・令和4年度の役員選任及びグループ分け	24
	13	立石校区健康福祉部会	・令和3年度事業報告・決算報告 ・令和4年度事業計画・予算(案)について	27
	15	三國小校区健康福祉部会役員会	・役員打ち合わせ ～3/27	延 77
	18	第1回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・令和4年度健康福祉部会体制について ・令和4年度事業計画・予算計画 ・レクリエーション備品購入について	8
	22	第1回小郡校区健康福祉部会	・令和4年度役員・事業計画承認 ・音楽の集い・新春健康落語会について	17
	26	市ふれあいネットワーク監査	・会計監査 監事 2名	
	28	第1回大原校区健康福祉部会役員会	・各グループ令和3年度活動報告	9
5月	10	第1回御原校区健康福祉部会	・令和3年度事業報告・決算報告 ・令和4年度事業計画案・予算案 ・各行政区のネットワーク問題	15
	11	第1回東野校区ふれあいネットワーク専門委員会	・ふれあいネットワーク活動及び福祉員の役割(社協 佐藤・川口) ・令和3年度事業報告・決算報告 ・令和4年度事業計画・予算計画 ・専門委員会要綱一部改正・意見交換会	15
	13	市推進委員会	・推進委員会委員の交代について ・令和3年度事業報告・決算報告の承認 ・令和4年度事業計画(案)・予算(案)	
	23	第2回大原校区健康福祉部会役員会	・各グループ令和4年度活動計画	7
	29	立石校区健康福祉部会	・くろつちカフェ	110
			三國小校区健康福祉部会	・三國カフェ 5月～3月(9回) 延237名
6月	6	第2回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・令和4年度まち協総会について ・令和4年度事業細部計画・予算細部計画	8
	27	第2回小郡校区健康福祉部会	・協力団体・出演者・担当リーダー決定	18

7月	2	立石校区健康福祉部会 ふれあいネットワーク 推進大会	・ふれあいネットワークについて 社協 佐藤・川口 ・事例報告発表 干潟区・立石区	43
	4	第3回大原校区 健康福祉部会役員会	・各グループの報告・今後の活動計画	9
	22	第2回味坂校区 健康福祉部会	・健康リーダー研修状況・呼びかけ	17
8月	10	第2回御原校区 健康福祉部会	・各区からの敬老の日配布品事前会議	15
	22	第3回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・令和4年度自分サポート実施計画 ・レクリエーション備品活用について	4
	30	第4回大原校区 健康福祉部会役員会	・各グループ実施報告・予定	7
9月	12	立石校区健康福祉部会	・キャラバン・メイト合同会議 認知症サポーター養成講座について	8
	13	福祉レクリエーション ボランティア講座	・サロンで指導できるよう指導者講習会 (9月13日～11月7日まで7回)	延 163
	14	東野校区健康福祉部会 出前講座	「悪質商法を撃退しよう！」 講師：小郡消費者生活相談室	23
	16	第3回小郡校区 健康福祉部会	・全体最終打ち合わせ	22
	20	第3回御原校区 健康福祉部会	・敬老の日のお祝い配布と 見守り状況意見交換会	15
	26	第4回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・第1回自分サポート実施計画	8
	26	第5回大原校区 健康福祉部会役員会	・各グループ今後の計画の検討・模擬訓練	9
10月	1	立石校区健康福祉部会	・立石 SOS ネットワーク検索・声かけ 模擬ミニ訓練（くろつち会館周辺）	30
	2	三國小校区健康福祉部会	・あんしんキット配布説明会	27
	2	のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・第1回目自分サポートプロジェクト のぞみが丘小体育館	23
	21	第3回味坂校区 健康福祉部会	・高齢者健康運動 ・交流会	18
	23	小郡校区健康福祉部会 七夕サロン	・「音楽の集い」開催	82
	27	立石校区健康福祉部会	・キャラバン・メイト合同会議	11
	31	第5回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・第2回自分サポート実施計画	6
11月	5	立石校区健康福祉部会	・立石 SOS ネットワーク検索、声かけ 模擬訓練（下鶴区・井上区・上岩田区）	69
	6	のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・第2回自分サポートプロジェクト のぞみが丘小体育館	19
	8	第6回大原校区	・各グループ実施の報告・予定	9



		健康福祉部会役員会		
	9	第2回東野校区 ふれあいネットワーク 専門委員会	・出前講座の感想 ・各行政区の福祉員活動及びサロン活動の 現状 ・これからの「ふれあいネットワーク活動」 について	14
	10	三國小校区健康福祉部会	・三国カフェボランティア会議	13
	13	立石校区健康福祉部会	・立石 SOS ネットワーク検索、 声かけ模擬本訓練（吹上・佐野古・立石区）	68
	15	第4回小郡校区 健康福祉部会	・「音楽の集い」反省会	19
	27	立石校区健康福祉部会	・くろつちカフェ	69
	29	立石校区健康福祉部会	・視察研修 子ども食堂・地域カフェ （春日市・福岡市）	16
12 月	5	第6回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・健康講話実施要領について	7
	19	第2回大原校区 健康福祉部会	・民生委員の交代に伴う会議 ・各グループの本年度12月までの報告	29
	24	立石校区健康福祉部会	・くろつちカフェ開催	220
1 月	20	第5回小郡校区 健康福祉部会	・落語会打ち合わせ、次年度計画	16
	30	第7回のぞみが丘小 校区健康福祉部会	・健康講話実施の細部要領について ・令和5年度事業計画・事業予算（案）	6
2 月	6	第7回大原校区 健康福祉部会役員会	・役員会議	9
	18	立石校区健康福祉部会	・令和4年度事業報告・予算執行状況 ・令和5年度事業計画・予算（案）	22
	19	のぞみが丘小校区 健康福祉講演会	・美鈴が丘区在住のアマチュア落語家 による落語会 3名	27
	21	第4回味坂校区 健康福祉部会	・健康教室 ・各行政区事業計画・意見交換会	17
	27	第6回小郡校区 健康福祉部会	・令和4年度反省	17
	27	三國小校区 健康福祉部会視察	・視察研修 「筑後地域消防指令センター」	14
3 月	6	第3回東野校区 ふれあいネットワーク 専門委員会	・令和4年度ふれあいネットワーク活動の検 証 ・令和5年度の向けての展望 ・これからの専門委員会活動の在り方及び組 織編制について	14
	12	三國小校区健康福祉部会 講演会	・「健康寿命を支えるために・お口の健康を守 る」講師 ハーモニー聖和 古賀圭子 氏	34
	15	三國小校区健康福祉部会	・料理講習会「お菓子作り」 講師レーブド・ベベ	37
	16	第3回大原校区	・部会組織体制のふりかえり	22

	健康福祉部会		
20	第8回のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・令和5年度事業計画・事業予算 ・令和5年度総会について	7
23	第5回味坂校区 健康福祉部会	・令和4年度事業報告（各行政区より） ・令和5年度事業計画・予算検討 ・意見交換会及び反省会	18
31	小郡市 ふれあいネットワーク 講演会	・ネット趣旨説明 ・「ふれあいネットワーク活動を楽しむには？」 講師 motto ひょうご 事務局長栗木 剛 氏	110

② 「ふれあいネットワーク」講演会

コロナの影響により新任区長研修会・全体研修会を中止にしたため、年度末に講演会を開催しました。

日 時：令和5年3月31日（金） 10:00～12:00

内 容：ふれあいネットワーク趣旨説明（社協）

講 演：「ふれあいネットワーク活動を楽しむには？」

講 師：motto ひょうご 事務局長 栗木 剛 氏

参加者：110名

③ 救急医療情報キット

単身世帯のため急病で倒れてしまった場合、緊急通報先等の情報を救急隊員に確実に発することができるように「救急医療情報キット」を追加配布しました。

また、台帳内容変更、キット削除者の更新作業を随時行いました。

【救急情報キットの配布状況】

累計令和5年3月末日現在

校 区	件 数	校 区	件 数	校 区	件 数
小郡校区	95	立石校区	45	三国校区	165
大原校区	112	御原校区	17	のぞみが丘小校区	5
東野校区	27	味坂校区	40	合 計	506

④ ふれあいネットワーク校区推進費

各校区のふれあいネットワーク活動を推進する事業に対し、活動支援を行いました。

校 区	助成金額	校 区	助成金額
小 郡	86,000 円	のぞみが丘小	44,000 円
大 原	62,000 円	立 石	74,000 円
東 野	54,000 円	御 原	54,000 円
三 国	90,000 円	味 坂	56,000 円
		合 計	520,000 円

⑤ 各区ふれあいネットワークの推進

人との接触を極力避けなければならない中、サロン等の集まりが令和4年度も減少しており、感染拡大防止に気をつけた訪問活動を推進して頂きました。配布物もコロナ禍に合ったマスクや消毒液など今必要なものなどの生活必需品と共に配布が増えています。

⑥ ふれあいネットワーク活動助成事業

各行政区において、支援が必要な高齢者などの悩みや問題に早期に気づく声かけや見守り活動に係る経費や、身近な公民館等を利用し外出のきっかけや地域の交流を目的としたサロンの様な開催を目指す各区での事業に対し、助成金を交付し活動の推進を図りました。

令和4年度	申請 62 行政区中 58 行政区	決定額 2,670,000 円
令和3年度	申請 62 行政区中 58 行政区	決定額 2,650,000 円
令和2年度	申請 62 行政区中 59 行政区	決定額 2,660,000 円

⑦ 脳トレ！宝満ノート配布

福祉なんでも相談の周知と、新型コロナウイルスの影響により、各区の集いの場であるサロン活動や見守り活動の実施が困難となり、「脳トレ！宝満ノート」を作成し、見守り活動等に活用して頂けるよう区長や民生委員児童委員等協力のもと配布しました。

The image shows four sample pages of the 'Brain Training! Tamaki Notebook'. Each page includes a header for the issue number and date, a cartoon character, a quote, and contact information for the Shikama City Social Welfare Association. The pages are numbered 7, 8, 9, and 10.

【発行部数】

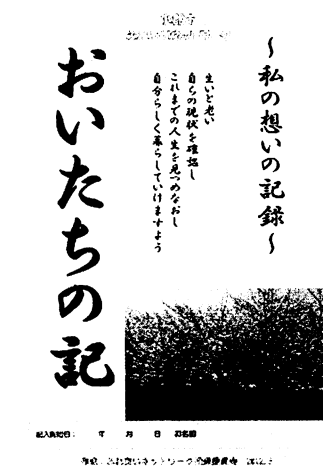
号	発行部数	発刊日	号	発行部数	発刊日
1号	5,000	令和2年11月	6号	3,000	令和4年2月
2号	3,000	令和3年3月	7号	3,000	令和4年5月
3号	3,000	令和3年5月	8号	2,500	令和4年10月
4号	3,000	令和3年9月	9号	3,000	令和5年1月
5号	3,000	令和3年11月	10号	3,000	令和5年3月

【令和5年度配布実績】

脳トレ 校 区	7号 (冊)	8号 (冊)	9号 (冊)	10号 (冊)
小 郡	374	216	297	212
大 原	218	235	190	505
東 野	233	270	260	158
三国小	470	650	649	940
のぞみが丘小	140	195	270	148
立 石	173	0	127	148
御 原	105	126	59	98
味 坂	135	186	156	100
校区コミュニティーセンター等	1, 152	622	992	209
合 計	3, 000	2, 500	3, 000	2, 518

- ⑧ エンディングノート「おいたちの記」の配布  
自分の想いの記録を残していただくように作成した小郡市社協版エンディングノート「おいたちの記」をサロン等で説明を行い、また、各区に配布しました。

令和4年9月16日(金)	三国が丘1・2サロン
令和4年11月16日(水)	花立サロン
令和5年3月8日(水)	のぞみヶ丘ほっとぷれいす
全配布数 1, 616部	



- ⑨ 七夕出前講座  
学校法人平岡介護福祉専門学校からの依頼により「ふれあいネットワーク」出前講座を行いました。  
日 時：令和4年6月14日(火)  
13:20～14:50  
内 容：「ふれあいネットワーク」  
参加者：平岡介護福祉専門学校  
1・2年生 60名



(2) 広報紙「社協だより」の発行

「おごおり社会福祉協議会だより」は4回発行し、地域福祉の推進を目的に市内各世帯や公共施設等に配布しました。

有料広告の掲載は、引きつづき市内近郊の事業所から協力をいただき、広告収入による経費軽減を図りました。

発行状況

 <p>2022.6 No.184</p>	<p>令和4年6月1日 22,900部発行 特集：主任児童委員 地域の子どもの見守りを活動とする主任児童委員。それぞれの地域での活動様子を紹介。</p>	 <p>2022.9 No.185</p>	<p>令和4年9月1日 22,900部発行 特集：赤い羽根共同募金 今回も感染予防を講じながら募金活動を実施。昨年度の募金活動により、今年度の配分による活動状況を紹介します。</p>
 <p>2022.12 No.187</p>	<p>令和4年12月1日 22,900部発行 特集：福祉教育 味坂小学校4年生の総合学習の様子を掲載。車椅子生活を送る東川結さんを講師に迎え、特別ではないみんなと同じ生活の様子を伝える。</p>	 <p>2023.3 No.187</p>	<p>令和5年3月15日 23,400部発行 特集：ボランティア情報センター ボランティア情報センターの活動周知を目的に特集。R4年度共同募金運動の活動報告とお礼。</p>

(3) ホームページ(HP)の随時更新

スマホなどから当会のホームページ宛に、いつでも問い合わせができる「福祉なんでも相談」に問合せ等をいただけるようになりました。

また、各係にて随時情報更新を行うことで、必要な情報を必要な方にお届けすることができました。

(4) 後援名義の使用許可

福祉関係団体やボランティア・市民活動団体等の事業に後援を行いました。

No	実施日	事業名	団体名
1	4月～12月 計10回	「市民後見人育成研修」 (久留米地区)	特定非営利活動法人 高齢者・障害者安心サポート
2	7月～8月 計5回	講習会「傾聴ボランティア講座」	傾聴ボランティア でんでん虫 新飼三枝子
3	11月13日	無料調停相談会	久留米調停協会
4	2月12日	第29回小郡音楽祭	小郡音楽祭実行委員会
5	12月11日	「おごおり冬まつり2022」	小郡冬まつり2022実行委員会
6	3月11日	司法書士による無料法律相談会	福岡県司法書士会筑後支部

(5) ちびっ子広場の遊具修理及びベンチ設置・立て看板配布

子どもの安全のため、立て看板（飛び出し注意）従来の物と新規の物を作成配布しました。また、子どもたちの遊び場、地域の皆様のつどいの場として行政区内地域広場における遊具修理及びふれあいベンチの設置修理を行いました。

【立て看板】

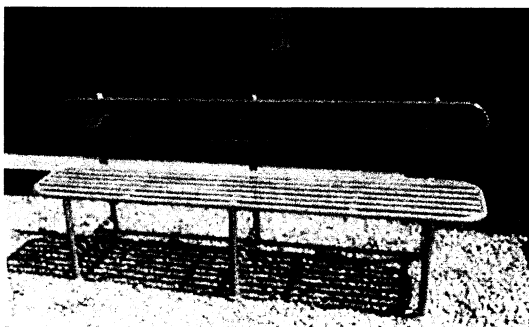
行政区	飛び出し注意
12行政区	14本（従来の看板）
25行政区	25本（新看板）

【ベンチ設置・塗装修理】

行政区数	ベンチ設置	塗装修理
2行政区	1基	2基

【遊具修理・撤去】

行政区	設置場所	修理内容
4行政区	神社・公民館	滑り台塗装修理・ブランコ塗装・鉄棒塗装・ブランコ撤去



【従来の看板】



【新看板】